

# きたほ Hot Line

No.578 9月号 2023

新署長就任  
インタビュー

仙台北税務署 署長

## 佐々木 匡之 氏

「変化の時代 互いに学び協力し税の知識を広めたい」

士業の見方  
スペシャル

税でしくじり経営者にならないために!

### 青年部会が 税のパネルディスカッション を開催



## 新署長就任 インタビュー

仙台北税務署 署長

# 佐々木 匡之 氏

## 変化の時代 互いに学び協力し 税の知識を広めたい

令和5年7月に仙台北税務署署長に佐々木匡之氏が就任された。秋田県出身、国税局査察部で通算10年のキャリアを持つ佐々木氏に、仙台北税務署長としての抱負、仙台北法人会についての思いを伺った。  
(聞き手・仙台北法人会広報小委員会 山田宗基委員長)

### 通算10年 マルサでの得難い経験

宮城県内の税務署での勤務は、平成30年の石巻税務署の署長以来2回目で、仙台北税務署は初めてです。青森税務署が振り出したこともあり、税務署での勤務は青森県が4か所・通算12年とこれまで一番長かったですね。

前任の課税第二部(法人課税課)を含め、課税畑での仕事が多かったのですが、印象深かったのは、「国税最後の砦」と言われる査察の仕事。いわゆる、マルサの仕事です。皆さんもご存じかと思いますが、大口・悪質な脱税行為を取り締まるセクションで、税務署や国税局で行う税務調査とは全く異なります。尾行や張り込みなどの内偵調査や裁判所への令状交付請求、強制調査など刑事事件に準ずる手続きを踏む専門的な職種。納得いくまで慎重に調査し、いざというときには夜を徹して動くことも多い。個人のスキルも組織的な動きも大事な特別な部署でした。査察ならではの大きな修羅場もありましたが、事件がうまくいった時の達成感は他で

は得難いものがありました。

仙台国税局33000人の内、査察部門は50名ほどの組織です。特別なスキルを積み上げていくことが必要なのであまり職員の入替えを行わないこともあって、機会がないと就けない。私はここで通算10年間、おもに実働部隊として勤務しましたが、20年を超える百戦錬磨の職員も多いので、まだまだ「査察職人」とは言えなかったですね。それでも、職員生活の中では貴重な経験をさせてもらったと思っています。

### 北法人会の アイデアとパワーに期待

現在は、コロナ禍の状況の下で抑制気味に行っていた税務調査がようやく通常ベースに戻ってきています。また、いよいよ10月から始まるインボイス制度については、春に税制改正されるなど、戸惑う事業者も多いと思います。単に事業者登録を促すのではなく、一人でも多く理解していただくための説明会と、個別相談を行っています。予測がつかない、また変化の速い時代に対応していくために、我々も常に研鑽し、事業者



の皆様は丁寧にしつかり寄り添っていきたくと思っています。

北法人会については、菅原会長の下、非常に活発な印象があります。実は租税教室の取り組について、石巻署長時代にその名を耳にしました。というのも、石巻法人会の青年部は、租税教室のために、ロールプレイング仕立てのソフトを作るなどかなり活発に活動をしていました。平成30年に初開催した「租税教室アワード」でもエリアで受賞。感心していたところ、県で争うライバルとして「北法人会青年部」の名前を聞いていたんですよ。

パワーあふれる石巻法人会青年部を上回るといえるのは、どれほどの人たちのだろうかと記憶に刻まれていました（その年、宮城県では北法人会青年部が、グランプリ受賞）。

皆さんの租税教室は、独自の工夫を積み重ね、まちづくりをするように小学生が楽しく税を学べる内容と聞いて、ぜひ機会を設けて見学させていたいただきたいと思いました。

会員には、他団体でも活動実績のある方が多いと聞きました。豊富な人材に恵まれ、本会を支える青年部を目指して

いくということですね。頼もし限りです。

納税意識の向上や円滑な税務行政の推進には、法人会の皆さんのお力添えが必要不可欠です。租税教室をはじめ、広報、周知活動について、今後ともぜひご協力いただきたい。

コロナ禍で減少していた情報交換、意見交換も今後は取り戻していけると思います。

今秋に立ち上げられる「業種別勉強会」についても、全国のモデルケースとなるようご協力させていただければと思います。

#### コロナ禍で取り組んだ健康習慣

私自身について、あまり語る趣味はなく、適度な運動習慣くらいです。長引くコロナ禍の状況下で飲酒の機会もめっきり減ったので、長年習慣化してきた晩酌もきっぱりやめ、晩酌の時間を適度な運動（自重トレーニング等）に振り替えたところ、体も締まって成人病予備軍だった数値も安定したので、今も習慣としています。体も軽くなったところで、ゴルフも再開しようかなとも思っています。

# 青年部会が税のパネルディスカッションを開催

令和5年度最初の本格的な  
事業開催

仙台北法人会青年部会では、7月21日(金)にテンザホテル・仙台ステーションを会場に、税のパネルディスカッション&名刺交換会を開催しました。今回はテーマに「税でしくじり経営者にならないよう税理士が教える上手な納税」を掲げ、部会員43名と一般参加者35名が参加しました。

このパネルディスカッションは、青年部会のビジネスネットワーク委員会(三浦剛委員長)が企画、集客、運営を担当した事業で、令和5年度体制としては初の本格的な事業開催となりました。新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、これまで事業開催の大きな足かせとなっていた様々な問題がクリアされ、青年部会としてもより多くの方に仲間入りしてもらうためにも、三浦委員長以下委員の皆さんが懸命に準備に当たり、当日を迎えました。

高級車は社用車として認められる!?  
開会にあたり山田部会長は

「お集まりいただいた一般の参加者とともに楽しい時間を共有したい」と宣言。続いて三浦委員長からは「本事業を楽しんでいただき、入会して帰ってほしい」と願望を直球で投げかけてパネルディスカッションがスタート。

今回は「税のしくじり経営者」にならないための相談を持ち込んだ経営者3人と、それに回答する税理士3人の6人のパネルストが登場。まずは青年部会監事の吉田修さんが「接待交際費はいくらまで認められるのか?」と口火を切り、パネルディスカッションがスタート。これに対し、税理士サイドの及川寛史さんは「税務判断として、支出の相手先が事業に関連すること、支出の目的が取引の円滑化など理にかなっているかが重要」と基本的な考え方を示し、「売上に対し、大きな企業なら0.2%〜0.3%、小規模の事業なら0.7%くらいが目安ではないだろうか。いずれにしても法律に則り、裁判での判例にも合うようにしてもののが良いだろう」との助言がありました。

続いての相談は青年部会OBの庄司恵介さん。「八百屋として野菜の配送などを迅速に行うた





めにこの車は社用車として認められるかと、ドイツ製のPの付く自動車の写真を提示。これに対して税理士の鷲尾秀樹さん（青年部会渉外委員）は、「高級車が経費に認められるかどうかという問題だと思うが、仕事に関係することが証明できれば、車種やメーカーを理由に認められない、ということはない」と説明。「かつてフェラーリは趣味性が高いので社用車に当たらないのでは、ということがあったが、結局業務上必要だと証明されて認められたことがあった」との事例も交え、「高級車は税務調査では目につくので、運行記録など証拠になる書類を残しておくことが重要」というアドバイスをくれました。

最後は青年部会OBの片桐健司さんから「私は本業とは別に俳優などタレント活動をしているが、今後も続けていきたい。美容等にかける費用は経費として認められるか」という相談。これに対応したのは、こちらもOBで税理士の河原真明さん。「実績があつて、今後も継続していく意志があり、社業として売上の一部を担うのであれば、十分経費に認められます」と断言。「俳優として容姿を維持する費用は、売上原価になります。きちんとストーリーがあつて、それが真実であり、売上になっている証拠があることが大事です」と進言して

くれました。また、河原さんは最後に「税はこの国の大事なルールの一つです。税のオピニオンリーダーとして、これからも納税知識の高揚に努めてください」と、後輩を激励してくれました。

**青年部会を盛り上げる  
新たな仲間を募集中!**

和やかな雰囲気、時には笑顔に包まれながらパネルディスカッションは閉会となりました。続いては一般参加者を交えての名刺交換会&懇親会です。

日下邦明青年部会運営事務の乾杯を皮切りに、部会員、パネリストとして出席してくれた皆さん、そして一般参加者が一堂に会して、会場内では積極的な交流が行われました。

仙台北法人会青年部会では、山田部会長のリーダーシップのもと、部会員がそれぞれに熱意を持って、地域ナンバーワンの青年団体を目指して各種事業を展開していきます。活動の興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会をご検討ください。



## 第2回通常理事会を開催



8月9日(水)、江陽グランドホテルにおいて通常理事会を開催し、定期異動で7月に着任された佐々木仙台北税務署長などを来賓に迎え、業務執行理事の業務報告や新入会員、今後の事業計画等の議題が上程され、審議の上、承認されました。また、支部並びに委員会、部会から事業報告がなされ、中でも「税の絵はがき展」について、本年は従来のせんだいメディアテークにおいて11月5日(日)に部会の皆さんから協力をいただきながら開催することになりました。

佐々木仙台北税務署長からは、租税教室の講師派遣をはじめとした税の啓蒙活動、税に関する情報提供に対する感謝のお言葉や、消費税インボイス制度・電子帳簿保存制度の理解を深め、準備を進める必要性についてお言葉がありました。菅原会長は、「社会の環境変化に対応した活動を行いながら法人会のPRを着実に進めていきたい」と語り、役員皆、改めて認識を共有しました。

## 委員会を開催

7月12日(水)、せんだいメディアテークにて第5回広報小委員会、第1回ホームページ小委員会が合同開催されました。今後の広報活動について、情報交換・互いに連携を図りながら今後進めることとしました。

7月13日(木)、仙台北税務署会議室にて第2回税制委員会が開催されました。主要議題である「宮城県・仙台市に対する税制改正・行財政改革要望」について、会員の皆さんからのアンケート・要望を参考に審議していただき、次回、委員会で引続き要望を持ち寄り審議することとしました。

委員の皆さんは、委員会終了後、仙台市内3会合同研修会に参加し一橋大学教授佐藤主光氏の「今後の税・社会保障のあり方について」を聴講していただきました。

7月26日(水)、エスポールみやぎにて第2回総務委員会が開催されました。主要議題である理事会提案の「会議・事業計画」や「税の絵はがき展」、「新年賀詞交歓会」等を審議していただきました。

7月26日(水)、エスポールみやぎにて第1回事業小委員会が開催されました。主要議題である「税の絵はがき展」について、従来使用している「せんだいメディアテーク」で開催することとし、次回、委員会でプログラム等の具体化に向け審議することとしました。



7/26第1回事業小委員会の様子

## 中央支部、七夕まつりへ協賛!



中央支部(和田剛和支部長)では、毎年管内にある「堤通り(県庁北側の北一〜六番丁までの約600m)」で開催される七夕祭りに協賛しており、今年も2竿の手作り七夕飾りの出展と、同時に開催される小学生が七夕をイメージして描いた作品を掲示するポスター展に協賛させていただきました。

7月26日(水)に七夕飾り制作会を開催、事前準備も加え約25名にご協力いただき、使い古しのチラシや包装紙などを使用した「エコ」七夕飾りを2竿分制作しました。また8月5日(土)には猛暑の中、所定の広場から青竹を運び飾付けを行い、無事割り当てられた2か所へ七夕竿を設置しました。今年も4年ぶりの通常開催という

ことで出展者は皆、気合十分。我々の手作り「エコ」七夕飾りも賞を狙いましたが、残念ながら…。しかし、参加者皆さんの思いの詰まった素朴で、エコで、サステナブルな七夕飾りが風に舞う様子がなんとも誇らしげでした。

さらに、8日(火)には七夕飾りの撤去と周辺清掃を実施。炎天下の作業となりましたが、総勢20名で活動を行いました。



## センスアップセミナーを開催～太極拳で健康増進～

女性部会(小泉知加子部会長)では、去る7月20日(木)ホテル白萩においてセンスアップセミナーを開催しました。今回は、健康増進を目的として、日本健康太極拳協会宮城県支部理事で楊名時太極拳(ようめいじたいきょくけん) 師範の菊田純子先生をお迎えし「はじめての太極拳」を行いました。

中国で護身術として生まれ、激しい動きを含む伝統武術である太極拳を健康維持と精神修養に重点をおいてアレンジされ、年齢や体力を問わずに習得できる運動として日本人向けに広まった『楊名時二十四式太極拳』

をしました。

お稽古のはじまりは「你好(ニーハオ)!」の挨拶から。鼻からゆっくり息を吸い、吸うときの倍くらいの時間をかけて息を吐く腹式呼吸が基本だそうです。力を入れず、人と比べず、ゆっくりまろやかに動く、それがじんわりと参加者らの体に響いてきて、脚筋力や体幹のバランスが鍛えられ全身の筋肉に刺激が伝わった様子でした。呼吸にも意識を持ちながら1時間の講習はあっという間。「謝罪(シェジェ) 再見(ツァイチェン)!」と挨拶をし、一礼をして終わりました。



講師の菊田純子先生



腹式呼吸を意識しながらポーズをとる参加者たち

女性部会会員大募集！入会初年度は年会費無料です。

## 『税のパネルディスカッション&名刺交換会』を開催！

青年部会(山田宗基部会長)では、去る7月21日(金)18:00～「テナザホテル・仙台ステーション」にて、「税でしくじり経営者にならないよう税理士が教える上手な納税」と題し『税のパネルディスカッション&名刺交換会(第1回部会員増強事業)』を部会員43名・一般35名の参加で開催いたしました。

事業は二部構成で実施し、第一部では税理士3名と経営者3名をパネリストにお迎えし、経営者ならではの税についての質問や悩みに対して税理士にお答えいただくスタイルでのパネルディスカッション並びに名刺交換会を行いました。

第二部の懇親会では、一般参加者の企業紹介と当部会各委員会の活動紹介を行いました。納税意識の高揚を図るとともにビジネスマッチングと参加者の親睦・交流を深めると同時に、一般参加者からは入会申込書をいただくこともできました。

青年部会会員大募集中！詳しくは→ <http://www.yg88.com/>



## 支部別会員数 2023年7月31日現在

## 法人会入会のお声がけをしよう！

黒川  
224社(±0)

泉東  
234社(±0)

泉西  
215社(+2)

宮城  
166社(±0)

北西  
315社(±0)

中央  
243社(-1)

北東  
298社(+1)

管轄外の賛助会員  
78社(±0)

合計1,773社(+2) ※( )内は先月末からの増減 ※管轄外の賛助会員は、仙台北税務署管轄外に所在する法人及び個人等。

仙台北税務署  
新任幹部



元木 陽子  
もとぎ よこ子  
税務広報広聴官

出身県 / 山形県  
趣味 / ウォーキング  
信条 / 健康第一  
抱負 / 分かりやすく丁寧な広報活動に努めます。



平野 勝也  
ひらの かつや  
総務課長

出身県 / 宮城県  
趣味 / ゴルフ  
信条 / 試行錯誤  
抱負 / 皆様とともに、いろいろなことにチャレンジしたいと思いをします。



大野 勝洋  
おおの まさひろ  
副署長

出身県 / 岩手県  
趣味 / ランニング、読書  
信条 / 機会を創り、機会を自らを変えよ  
抱負 / 納税者の皆様から、より一層の理解と信頼を得られるよう取り組ませていただきます。



菊地 拓也  
きくち たくや  
連絡調整官

出身県 / 岩手県  
趣味 / スポーツ観戦  
信条 / 一期一会  
抱負 / 日々を大切に、元気に頑張ります。



笠原 雄太郎  
かさはら ゆうたろう  
審理専門官

出身県 / 福島県  
趣味 / 鉄道系旅番組(YouTube)を視聴すること  
信条 / 苦は楽の種  
抱負 / 頼られる審理専門官を目指します。



小椋山 敦  
こびやま あつし  
統括国税調査官

出身県 / 福島県  
趣味 / 料理  
信条 / 「仕事」も「遊び」も楽しく  
抱負 / 何事も真摯に取り組み、皆様との連携・協調に努めます。

◆税務署で面接による相談をご希望の方  
(事前予約のご案内)

国税に関するご質問やご相談については、チャットボットやタックスアンサー、電話相談センターを是非ご利用ください。具体的に書類や事実関係を確認する必要がある場合など、上記の方法による解決が困難な場合には、所轄の税務署にて面接による相談を実施しています。面接相談は、面接時間を十分に確保するほか、ご持参いただく書類などをお伝えする必要があることから、電話等で事前に相談日時等をご予約いただいております。

【国税庁ホームページ】

税の情報・手続・用紙 ▶ 税について調べる ▶ 国税に関するご相談 ▶ 税務署にご用のある方 ▶ 税務署で面接による相談を…

◆税務署からの照会やお尋ね、納付に関する相談をご希望の方

税務署からの照会やお尋ね、納付に関するご相談など、税務署の職員にご用のある方は、所轄の税務署の担当職員が対応します。納付に関するご相談については、お早めにお電話ください。  
※納期限までに納税されない場合、延滞税が発生する場合があります。

その安心で、  
企業とともに未来をつくる。

**企業保障**

DJIDO 大同生命  
仙台支社/  
宮城県仙台市青葉区大町1-1-1  
(大同生命仙台青葉ビル3F)  
TEL 022-221-5486

経営を取り巻く様々なリスクから企業を守る!

**Business Guard**

AIG損害保険株式会社 仙台支店 TEL.022-221-2532

政府防災の上級社補償  
ハイパー任意労災 (重傷災害総合保険)

企業向け第三者賠償責任保険  
ALL STARS (事業賠償・費用総合保険)

火災と地震災害に備える  
アロハ字一カード  
+企業地震保険 (企業地震総合保険)

個人情報漏えい事故対策  
情報漏えいカード  
(個人情報管理研修)

Afiac「生きる」を創る。

仙台総合支社  
〒980-6122 仙台市青葉区中央1-3-1 エール22階  
TEL 022-876-505

発行所/公益社団法人 仙台北法人会 発行人/会長 菅原 裕典  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目3番22号(仙台ビルディング6階) 電話/022(263)0151 FAX/022(268)0205  
編集/公益事業推進委員会 委員長 日下 邦明 印刷/笹氣出版印刷株式会社  
きたほHotLineは皆様の会費によって製作されています。



きたほ  
**Hot Line**

https://kitaho.or.jp/

仙台北法人会 検索